令和 5 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長森児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課			
所在地	岐阜市野一色4丁目11番4号					
指定管理者名	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業	社会福祉法人 岐阜市社会福祉事業団				
指定期間	令和4年4月1日~令和9年3月31日ま	↑和4年4月1日~令和9年3月31日まで				
選定方法	✓ 公募 □ 非公募					
料金制	□ 使用料 □ 利用料金	✓ 料金徴収なし				
指定管理委託料(年額)	16,158,000円					
施設の設置目的	施設の設置目的 児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。					
◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,297.26㎡ ◇延床面積:440.25㎡						
施設概要 ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室兼集会室、おもちゃ図書館、事務室、駐車場						

●利用状況

		R5下半期	R5上半期	R4下半期	R4上半期	R3下半期
利用者数	来館者数	13,456	13,319	8,984	9,186	6,582
(単位:人)	移動児童館利用者数	366	248	283	200	122
各室稼働状況	移動児童館実施回数(単位:回)	※ 10(4)	% 6(3)	※ 10(9)	※ 7(5)	※ 5(5)
台主 隊側仏冼	開館日数(単位:日)	151	155	151	155	151

※実施回数(施設未設置地区実施回数)

●業務の履行確認

●業務の履行の 区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	(1)開館日・開館時間の遵守 (2)適切な人員配置 (3)広報の方策 (4)苦情への対応 (5)仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①適正に実施している。 ②職員3人(所長、常勤職員2人)(うち保育士資格を有する児童厚生員2名、保育士資格証待51名) ③エリア5校区(長森北・南・西・東・日野)小学校に依頼をし、データ配信をすることで、対象全児童(1971人)が貸与されているタブレット端末にて閲覧できます。 ・野一色公園の掲示板や近くにあるTUTAYAの地域の掲示板にも掲示をお願いしておます。 ・澤田新聞)の情報誌「長森かわら版」に「交通安全啓発活動」について掲載されました。 ・長森北公民館の文化祭に児童センターの紹介をまとめたものを出展しました。 ・岐阜東中・高校のキャリア教育の一環で児童センターについて紹介する機会「夢を語る会」の講師として参加をしました。 ・ホームページ(下半期20回更新)・インスタグラム(連動してフェイスブックともに下半期170回内動画8回投稿)にて情報発信をしました。 ④ご意見箱を常時設置し、利用者からのご意見・ご要望をいただける体制としています。また苦情解決の仕組み・苦情の申し出先を館内掲示(玄関・ホールにて)することで苦情に対して適切に対応できる体制としています。・・児童・保護者を対象にアンケートを年間2回実施しました。(下半期は1回)アンケートの結果(各100名分)は館内に掲示するとともに、改善できるものは取り入れました。(ドー半期は1回)アンケートの結果(各100名分)は館内に掲示するとともに、改善できるものは取り入れました。(大ー・アー・リー・東京できるものは取り入れました。(本を子どもが自分で選べるよう届く場所にしてほしい・場所を移動しました)・・小学生対象に行事後に独自のアンケートを(下半期4回)取り、今興味があること児童センターでやってほしい行事などを書いてもらうことにより、年間を通して子どもたちの要望を把握して、取り入れました。(オセロ大会、チェス大会、なわとび大会、スライム、テーブ風船作り等) ⑤仕様書、事業計画書に基づき事業を実施し再度見直しやボランティアの申し出等を多数受け入れ計画以上の事業を実施しました。
自主事業 提案事業		

施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①管理点検マニュアルに基づき日常点検・消防用設備の点検・ 遊具設備及び建物点検等適切に実施しました。 ②施設の清掃は職員による日常清掃と就労継続支援事業所に よる週2回の館内清掃を実施。年4回の業者に依頼してのワック ス掛け(下半期2回)を実施しました。 玩具等は貸出物品には、毎回の消毒に心掛け、それ以外の玩具 については使用頻度を見ながら不定期ではあるが、消毒をして、 安心して使って頂けるように心掛けました。 ③未使用の部屋の電気・エアコン等スイッチを切り適切な温度設 定、フィルター清掃などを行い節電に努めました。また、ペットボト	
			ル及び牛乳パック今期はトイレットペーパーやサランラップの芯を活用するなど、環境に配慮した施設運営に心掛けました。 ④月2回の職員による施設の安全点検・遊具の点検・AED器具の機能確認、毎日の消毒、清掃を行い、遊具設備の維持管理に努めました。
	施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①緊急性のあるものは、岐阜市社会福祉事業団事務局及び岐阜市に即時報告して判断を仰ぎました。 ②建物等大規模修繕は、岐阜市社会福祉事業団を通して岐阜市へ要望を提出しました。(床・畳トイレの手洗い場の水漏れ・ホールの床)
	危機管理 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	岐阜市社会福祉事業団個人情報保護規程、災害マニュアル、児童福祉法等関係法令を遵守し適切に実施しました。 ①個人情報が記載された用紙は、使用後は全てシュレッダ処理を行い個人情報の漏洩防止を徹底しました。 ②災害や事故が発生した場合には、岐阜社会福祉事業団並びに岐阜市へ迅速に報告する体制を構築しました。また下半期1回消防訓練を実施(2月)、非常用備品の確認も同時に行い期限の確認と不足品の補充も実施しました。マニュアルに沿っての適切な対応及び消防訓練)を実施し警察・消防への適切な対応の徹底と警備会社との連携をしています。

●利用者評価

●利用者評価					
	<保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート>				
	期間:令和6年1月17日~令和6年2月29日 回答者数:100人				
利用者アンケートの 実施状況	<小・中・高校生用アンケート>				
J(1)2 V(1)2	期間:令和6年1月17日~令和6年2月23日				
	回答者数:100人(小学:1年6人、2年7人、3年25人、4年14人、5年14人、6年32人) (中学:1年1人、2年0人、3年0人)(高校:1年0人、2年0人、3年0人)、未記入:1人				
	<保護者用(一般	**来館・クラブ参加)アンケート>			
	【校区】	長森東(24人)、長森北(22人)、長森西(20人)、長森南(18人)、日野(5人)、その他市内(6人)、 その他市外(5人)			
	【年齢】	10代(0%)、20代(13%)、30代(74%)、40代(10%)、50代以上(3%)			
	【利用頻度】	初めて(6%)、ほぼ毎日(1%)、週2~3回(14%)、週1回(20%)、2週に1回(28%)、月1回(23%)、 その他(7%)、未記入(1%)			
	【来館相手】	子(94%)、孫(2%)、友人(3%)、その他(1%)			
	【子・孫の年齢】	0歳(10%)、1歳(26%)、2歳(32%)、3歳以上(27%)、小学生(3%)、未記入(2%)			
	【来館方法】	徒歩(5%)、自転車(4%)、自家用車(91%)、公共交通機関(0%)			
	【何で知った】	ホームページ(42%)、知人・友人(31%)、学校(0%)、広報誌・チラシ(2%)、 保育所・幼稚園(4%)、ぎふし子育て応援アプリ(3%)、ブログ・SNS等(6%)、その他(12%)			
	【評価】				
	(あいさつ)	満足(94%)、ほぼ満足(5%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%)			
	(言葉づかい)	満足(93%)、ほぼ満足(7%)、普通(0%)、やや不満(0%)、不満(0%)			
利用者アンケートの	(利用者対応)	満足(92%)、ほぼ満足(7%)、普通(1%)、やや不満(0%)、不満(0%)			
実施結果	(利用しやすさ)	満足(84%)、ほぼ満足(11%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%)			
	(整理整頓)	満足(86%)、ほぼ満足(12%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%)			
	(清潔感)	満足(75%)、ほぼ満足(20%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(1%)			
	(換気)	満足(83%)、ほぼ満足(14%)、普通(3%)、やや不満(0%)、不満(0%)			

<小・中・高校生用アンケート> 【学校名】 長森北(65人)、長森東(22人)、長森西(10人)、日野(2人)、その他市内(1人) 【学年】 1年(6%)、2年(7%)、3年(25%)、4年(14%)、5年(14%)、6年(32%) 小学· 1年(1%)、2年(0%)、3年(0%)、未記入(1%) 【利用頻度】 初めて(2%)、毎日(2%)、週4・5回(7%)、週2・3回(16%)、週1回(32%)、その他(40%)、未記入 【来館相手】 ひとり(8%)、友人(58%)、兄弟姉妹(18%)、父母(13%)、祖父母(1%)、親戚(1%)、 未記入(1%) 【来館方法】 徒歩(31%)、自転車(45%)、自家用車(21%)、バス・電車(0%)、未記入(3%) ドッジボール(23%)、卓球(13%)、ぬりえ(10%)、カロム(8%)、パズル(8%)、ボードゲーム(7%)、 【好きな游び】 サッカーゲーム(5%)、その他(26%) く保護者> ・現状でとても満足しています。コロナの状況が厳しい時でも、おもちゃの貸し出しが自由だったので嬉しかったです。来館 カードを毎回書くが子どもが小さい頃は大変でした。別の自治体では手作りのカード(年1回発行)を見せれば利用できる 児童館もありました。(コロナ前ですが)子どもが塗り絵の種類が増えたらいいなと言っています。 A.入館カードにつきましては今後の課題として検討していきたいと思います。 A.ぬりえは4月より増やしていく予定です。 おもちゃの電池が入っているとうれしい。 A。電池使用無しで利用していただくものもありますが、少しずつ電池使用のおもちゃは取り入れていこうと考えています。 電話でリトミックの予約ができたらうれしいです。 A.検討していきたいと思います。 アンパンマンシリーズのぬいぐるみが古いので新しいものがあるといいです。 A古いものは順に買い替えていきたいと思います。 ・子どもの名前も覚えて呼んで下さるのがとてもうれしいです。おもちゃもいろいろなものが増えてうれしいですが、すべりだ いがなくなり、年中さんのおにいちゃんには少しものたりないなぁと思いました。1才の弟はトミカや大きな車など楽しめるも のがたくさんあって助かっています A.大型滑り台については今後検討していきます ・先生方、いつも子供たちに明るく接してくださり、ありがとうございます。名前をおぼえて声がけしていただけて嬉しかった です。この近くには子育て支援センターが少ないので本当に助かっています。地域のお知らせを最近たくさん掲示して下 さっているのがありがたいです。もっとふえるとうれしいです。SNSにもイベントの情報をあげてくださってて助かります。夏期にお庭で水あそびみたいなことができるとうれしいです。 A,コロナで中止していましたが、再開する予定で考えています。 こわれているオモチャが多くなっている。 A.修理可能なものは直していきます。新学期には随時新しいおもちゃに買い替えを考えています。 ・おもちゃがレトロなので、新しいもの少しずつ入れてくれるとうれしいです。 A.レトロなものも大切にしながら、随時新しいおもちゃも購入していきます。 ・おもちゃの音がちゃんとなるとうれしいです。 A.電池を入れていないおもちゃもありますので、電池入りのおもちゃで切れていましたら職員にお声がけいただけると助か 利用者からの ります。よろしくお願いいたします 要望・苦情と ・小さい子でもできる様なボードゲームがあったらいいなと思います。 対処・改善 A.新しいゲームも随時購入していきます。おすすめのゲームがありましたら職員までお知らせ下さい。 <児童> ・ゲームをふやしてほしい A.4月以降に新しいゲーム、おもちゃを購入する予定です。 ・祭りとかの時間を午後にしてほしい。行事も2時にしてほしい A.お祭りは午前と午後両方で企画するように考えていきます。 ・おかしを食べたい A.市へ要望として伝えておきます。 ・つくえといすを増やしてほしいです A.スペースにかぎりがあるので机は増やせないですが、椅子は検討していきます。たくさんの子に座ってもらえるように職 員が声をかけていきます。 大なわ大会をしてほしいです A.4月以降、開催する予定です。 月よう日にあいていてほしい A.市へ要望として伝えておきます。 ・トイレが暗くてこわいです A.明るい電球に変えて、自動点灯できるように検討中です。

・がくふがほしい

A.4月以降、用意する予定です。

・おりがみをおいてほしい

A.折り紙ができる紙を用意しようと思います。折り紙は行事で使いますので作りに来てください。

・タイミングを考えてほしい

●指定管理者の選定基準に基づく評価

●指定管理者の選定基準に基づく評価 評価							
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準		所管課	評価 委員会	
	住民の平等利用が確 保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施・運営委員会の開催	Α	Α	Α	
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表 ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	S	S	S	
			区分評価			S	
	事業計画書の内容 が、対象施設の効用 (設置目的)を最大限 発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規 事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S	
		④利用者ニーズ、苦情などの把握 方法、対応方策及びサービスの質 を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A	
効果性		⑤利用者に対するサービス向上の 方策(窓口応対、プロモーション、設 備の整備など)	・移動児童館の実施 ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S	
劝未任		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	S	S	
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限 発揮できるスタッフの配置	・過不足ない適正な人数配置、無理のない職員体制	Α	Α	Α	
		区分評価				S	
	事業計画書の内容 が、管理経費の縮減 が図られるものである こと	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	Α	Α	Α	
効率性		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、 節水・節電など)	Α	Α	Α	
		区分評価				Α	
	事業計画書に沿った 管理を安定して行う物 的能力、人的能力を 有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も 含む)の経歴、保有する資格、ノウ ハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	Α	Α	Α	
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・職員の連携体制、職場環境の整備	Α	Α	Α	
安定性安全性		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人 材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	8	8	
		③リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	S	S	S	
		区分評価				S	
	事業計画書の内容 が、岐阜市あるいは施 設がある特定の地域 (以下「地元」という。) の振興、活性化などに 貢献できるものである こと			S	S	S	
貢献性		⑤地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加 (地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等 の実施	S	S	S	
			区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など) □SNSの充実(公平性 透明性①② 効果性⑥ ・ホームページ下半期更新20回・インスタグラム下半期投稿177件・フェイスブック177回(インスタグラムと連動)による情 報発信に努めました。 ・今期公式ラインを取り入れました。(登録された方と児童センターとの1対1のやり取りができ他の登録者に情報漏えいす ることはありません)ラインでクラブの出欠や行事の連絡が一斉送信することができてとても便利になりました。登録クラブの方に中止のお知らせや、センターで撮った親子写真をライン送信しました。今までは、電話のみの連絡手段だったのでなかなか繋がらない方もありましたがライン登録をしておくと手が空いたときに返信をいただけるのでとても便利になりまし た。「文字として残っているのでメモを取らなくてよい」「写真を送ってもらえるのでよい」など皆さんに高評価を頂いていま ロボランティアの充実(貢献性(4)) ・小学生から大人まで幅広い世代までの方に児童センターの企画・運営に携わって頂けるように特に地域の中からの人材 確保を目指しました。今期は前期に引き続きフラダンスとフットマッサージの先生や、草とり樹木の手入れから整備まで、 (下半期10回)来ていただけた方、サンタをやっていただけた方、大きな紙にイラストを描くところを見せていただける方、 シャボン玉ショーをやって頂けた方、小中学生・衛生専門学校生もお祭りなどのイベントスタッフとして参加や、パパさんク ラブなどの幼児さんのクラブでのお手伝いなどに、進んで参加してくれました。 ・来年度に持ち越し・・・地域の方にボランティアのお願いの声掛けに、英語クラブ、ゲートボール、ペタンククラブの方が名 乗りを上げて来ていただけ話を進めていましたがこちらの希望と日にちの調整をしましたが大会や自治会の予定と重複 し、変更を何度もした結果来年度に延期となりました。 今期の取組み □地域組織との連携(貢献性値) に対する評価 ・老人クラブの方と多世代交流会を企画して昔遊びのコーナー遊び「お手玉」「おはじき」「あやとり」「けん玉」を子どもたち に教えてくだりました。そのあとに小学生とじゃんけんゲームなどで交流しました。 ・野一色公園で毎年行われている「オータムフェスタ」に児童センターのコーナーあそびで参加しました。当日に向けて、小 学生、長森中学校生、衛生専門学校生、一般の方の協力を得て準備をして開催しましたが、30分ほどで、みぞれと強風 のため、中止となってしまいました。後日公園の方と、来年度「オータムフェスタ」以外にも一緒に企画をしようということで、 新たなイベントを計画しています。 ・岐阜東高校生と乳幼児のふれあいを行いました。高校生からは「小さい子と関わる機会がないので貴重な体験でした」ご 夫婦で参加された保護者からは「わが子と照らし合わせて見ていました」などの感想をいただきました。 衛生専門学校の2クラスに授業の一環として歯磨き指導と交流会に来ていただきました。毎日の歯磨きが思うようにでき ず、気にされている方が多くみうけられまたが今回の交流会で参考に出来る部分がたくさんあったことや、歯のまだ生えて いないお子さんをお持ちの方からは「聞いてよかった」との感想をいただきました。 ・東海学園大学より11月3名12月3名の実習生を受け入れ対応しました。 ・長森北公民館の文化祭に出展しました。PRを兼ねて児童センターで行っている行事の写真や今後の予定も一緒にいれ ました。その後「掲示を見て知った」と声を掛けてくださる方や、お孫さんを連れてきていただける方もありました。 〇近隣の公園に出向き、地元住民に児童センターでの活動を紹介したり、地元の情報誌に取材を依頼し、行事を掲載して もらうなど、積極的に広報活動を行い、児童センターの活動周知に努めている。 ・公民館にシニア向けの行事案内を掲示依頼して広報活動をするとともに、ボランティアの呼びかけをしました。野一色公 園で行われるオータムフェスタに参加させていただき児童センターのコーナーを設けるとともに、施設の紹介も掲示しまし た(途中でみぞれと強風のため中止) ・長森北の交通安全協会の方が児童センターで読み聞かせの会を行いたいとみえました。子どもたちにも呼びかけポス ター作りをして近隣の幼稚園小学校に掲示をお願いしました。その様子が地元情報紙「長森かわら版」に掲載されました。 〇地元住民の特技を活かした講座を実施したり、専門的な講師に依頼し、専門性の高い事業を実施するなど多種多様な 新規事業を実施している。 ・老人クラブの方に協力により、昔遊びを教えていただく多世代交流会を行いました。(再掲) ・保護司の方に「わが子がハードルを越えていくために」や、岐阜県警本部のサポート総合センターの少年育成支援官によ る虐待未然防止「心のおまもり作り」の講演会を行いました。熱心に話を聞かれ講演後も残って講師の先生と話し込む保 護者の方もありました。 ・自然の家の指導員による木の実を使った工作で鉛筆立てを作りました。 ・放送大学の清流ハーモニー(童謡を広める会)の学生の方と一緒に童謡を歌いました、作詞家の思いや曲の時代背景な どの説明を聞くことでまた違った気持ちで歌えました。その他にもバルーン遊びやハイタッチなどして楽しい交流会となり学 生の方にも喜んでいただけました。 前回までの意見を ・岐阜県立衛生専門学校の歯科衛生学科の学生に授業の一環で歯の話を親子にしていただきました。分かり易く歯磨き 踏まえた取組み状況 の仕方について教えていただけお母さん方も、積極的に質問をされ学生とも交流できました。 るようにと職員と一緒になって考えてくれました。(オータムフェスタの準備、当日、長森ショータイムの出演など) ・富田学園吹奏楽部に来ていただきミニコンサーを行いました。地域に広報していたので多くの方が来館され楽しんでいた だけました。 〇今まで専門業者に依頼していた草刈を職員自らが定期的に実施し、ふれあい花壇の制度を利用して環境整備するな ど、経費縮減に努めている。 ・老人クラブにボランティの募集のチラシや声かけをしていたところ、地域の方で草木の手入れをしていただける方が来て いただけグランドの石拾いや整備、樹木の剪定をやっていただけました。(下半期10回) ・ふれあい花壇の会議に参加して植え方のコツ等の講習を受けてきました。そこでチューリップの球根60球を頂きました。 後日下半期分の苗のパンジー120株頂き、花壇を彩ることができました。また上半期に頂いたマリーゴールド花の種を採 取したものをかわいくラッピングして子どもたちにメッセージを書いてもらい希望者に配布して喜んでいただきました。(30名 分)

また、「地域とつながる」授業の一環でボランティアに4名が8日間行事に合わせてきていただけました。子どもたちが楽しめ

□地域の方との更なる連携

今後も、地域の方の協力を得て様々な行事を計画して実行していきます。

□母親クラブの充実

母親クラブのサポートをして、様々な活動を通してお互いの親睦を深め、子育ての楽しさや面白さを感じてもらえる場とな る様に努めます。

□小学生子どもスタッフの設立

子どもボランティアとして活動できる場を設けて、子ども達に色々な経験が出来る様に努めます。

今後の取組み

●所管課の意見

〇子どもたちの要望を行事に活かしたり、高校生と乳幼児のふれあいや、専門学校による歯磨き指導を行うなど、業務改善や新規事業に積極的に取 り組んでいる。

○移動図書館を下半期で10回実施したり、LINEを活用し登録者との相互連絡を迅速に行うなど、利用者の利便性の向上に努めている。 ○地元の団体や学校、住民、ボランティアと連携して、親子ふれあい教室や多世代交流会など、様々な事業を実施している。

●指定管理者評価委員会の意見

所管課の意見のとおり、適切に管理運営されている。 児童館は子どもの居場所としての役割があることから、アンケート等子どもの意見を大切にし、今後も運営に努めて欲しい。 アンケートでお菓子を食べたいとの意見が上がっていたが、アレルギーの問題や食べこぼしによる衛生面の課題が残るため、認めることができないの は理解できる。